

Interactive Fact Book グッドプラクティス事例

事例 1

複数の部局における特定の課程の学生数を比較してみたい。

例) 工学府と理学府の博士課程学生数だけを見たい場合：

The screenshot shows the Interactive Fact Book interface with the following elements:

- Header:** Home / データ・情報 / 一般公開データ・情報 / Fact Book (IRデータ集) / Interactive Fact Book
- Section Header:** Interactive Fact Book
- Navigation:** Interactive Fact Book利用方法, Interactive Fact Book グッドプラクティス事例
- Table of Contents (目次):**
 - 1. 概要・他大学との比較 (Pdf)
 - 2. 教職員数等
 - Ⅰ. 教職員全体
 - Ⅱ. 教員
 - Ⅲ. 職員
 - 3. 学生数
 - Ⅰ. 学部
 - Ⅱ. 大学院 (highlighted with a red box and arrow labeled ①)
 - 4. 志願状況
 - Ⅰ. 学部
 - Ⅱ. 大学院
 - 5. 入学状況
 - Ⅰ. 学部
 - Ⅱ. 大学院
 - 6. 学位取得状況
 - Ⅰ. 学部
 - Ⅱ. 大学院
 - 7. 進路・就職状況
 - Ⅰ. 学部
 - Ⅱ. 大学院
 - 8. 資格試験等合格状況
- Main Content Area:**
 - Section Header: 3. 学生数 - Ⅱ. 大学院
 - Navigation: 前へ (「3. 学生数 - Ⅰ. 学部」), 次へ (「4. 志願状況 - Ⅰ. 学部」)
 - Buttons: 目次に戻る
 - 【ご注意】: モニターのサイズにより表示されない場合があります。 ※ブラウザやOSのバージョン等により正しく表示されない場合がありますので、最新のバージョンでお試ください。
 - Filter: 大学院学生数 (全体) / 大学院学生数 (学部別) (highlighted with a red box and arrow labeled ②)
 - Learning Course Selection (学習課程選択):
 - 修士課程
 - 専門職学位課程 (注2)
 - 博士課程
 - Faculty Selection (学部選択): (すべて)
 - Legend (学部別):
 - 人文科学府
 - 比較社会文化学府
 - 地球社会統合科学府
 - 人間環境学府
 - 法学府
 - 経済学府
 - 理学府
 - 数理学府
 - 医学系学府
 - 薬学府
 - 工学府
 - 芸術工学府
 - システム情報科学府
 - 総合理工学府
 - 生物資源環境科学府
 - 統合新領域学府
 - Gender Selection (性別): 女性, 男性
 - Charts:
 - 九州大学 ◆ 課程別・学部別大学院学生数 (注1) (注3): Stacked bar chart showing total graduate student numbers from 2010 to 2019.
 - 九州大学 ◆ 男女別・課程別・学部別学生数 (注1) (注3): Stacked bar chart showing student numbers by faculty and gender from 2010 to 2019.

大学院学生数（全体）

大学院学生数（学府別）

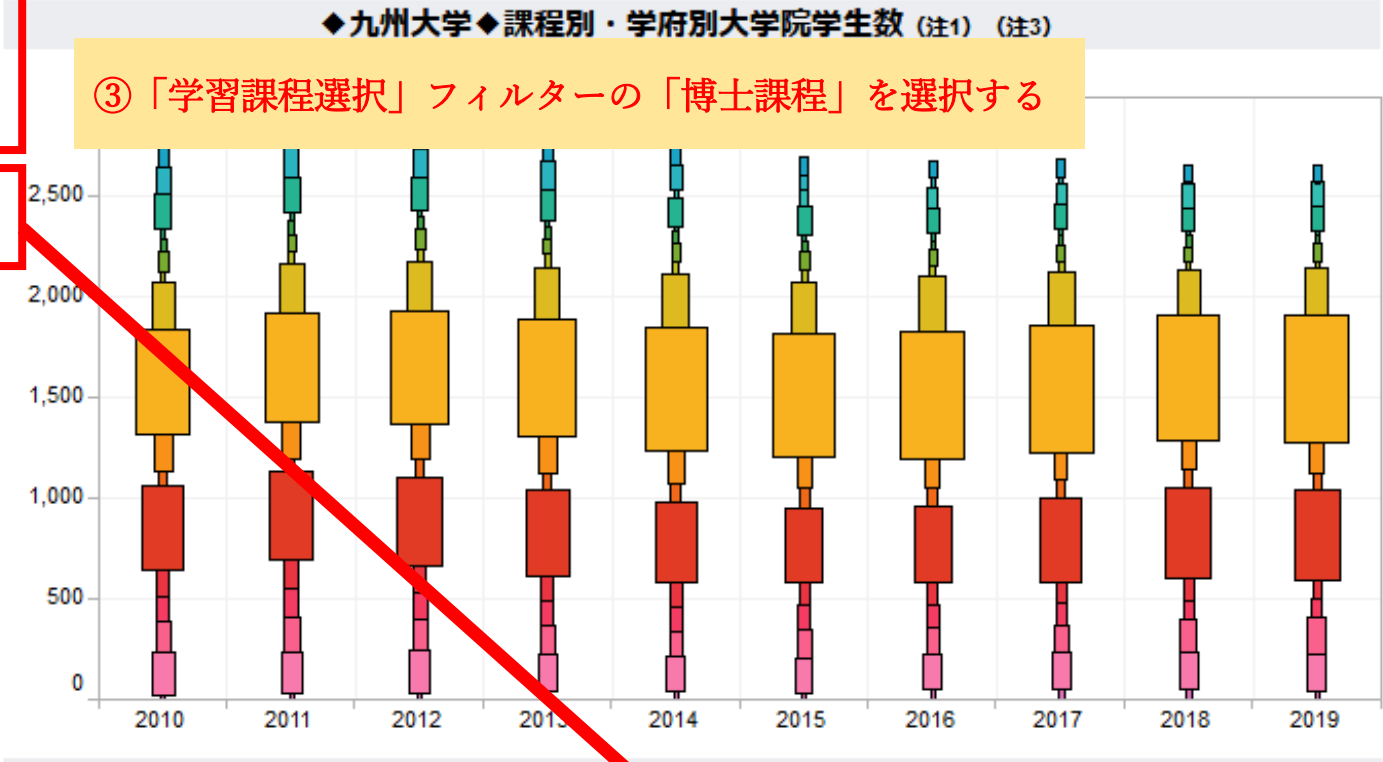
③

- 学習課程選択
- 修士課程
 - 専門職学位課程 (注2)
 - 博士課程

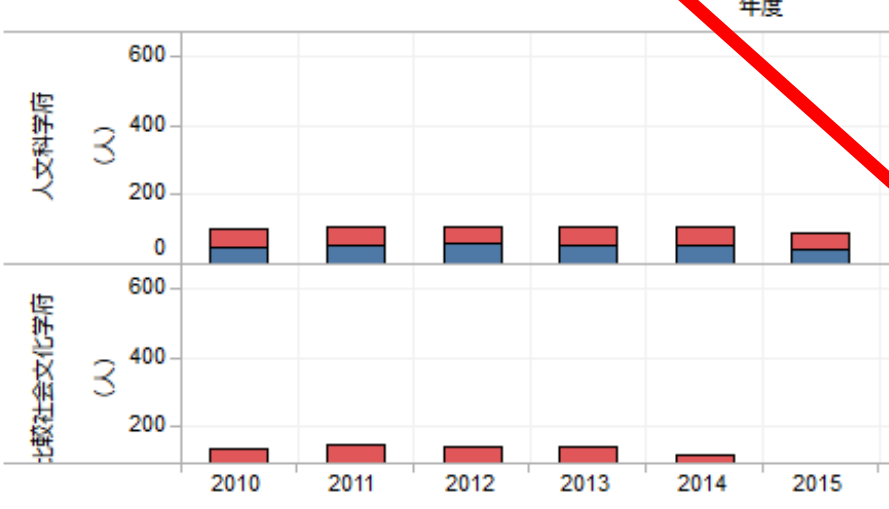
③ 「学習課程選択」 フィルターの「博士課程」を選択する

学府選択
(すべて)

- 人文科学府
- 比較社会文化学府
- 地球社会統合科学府
- 人間環境学府
- 法学府
- 経済学府
- 理学府
- 数理学府
- システム生命科学府
- 医学系学府
- 歯学府
- 薬学府
- 工学府
- 芸術工学府
- システム情報科学府
- 総合理工学府
- 生物資源環境科学府
- 統合新領域学府



◆九州大学◆男女別・課程別・学府別学生数 (注1) (注3)



専門職学位課程 (注2)

博士課程

学府選択
(複数の値)

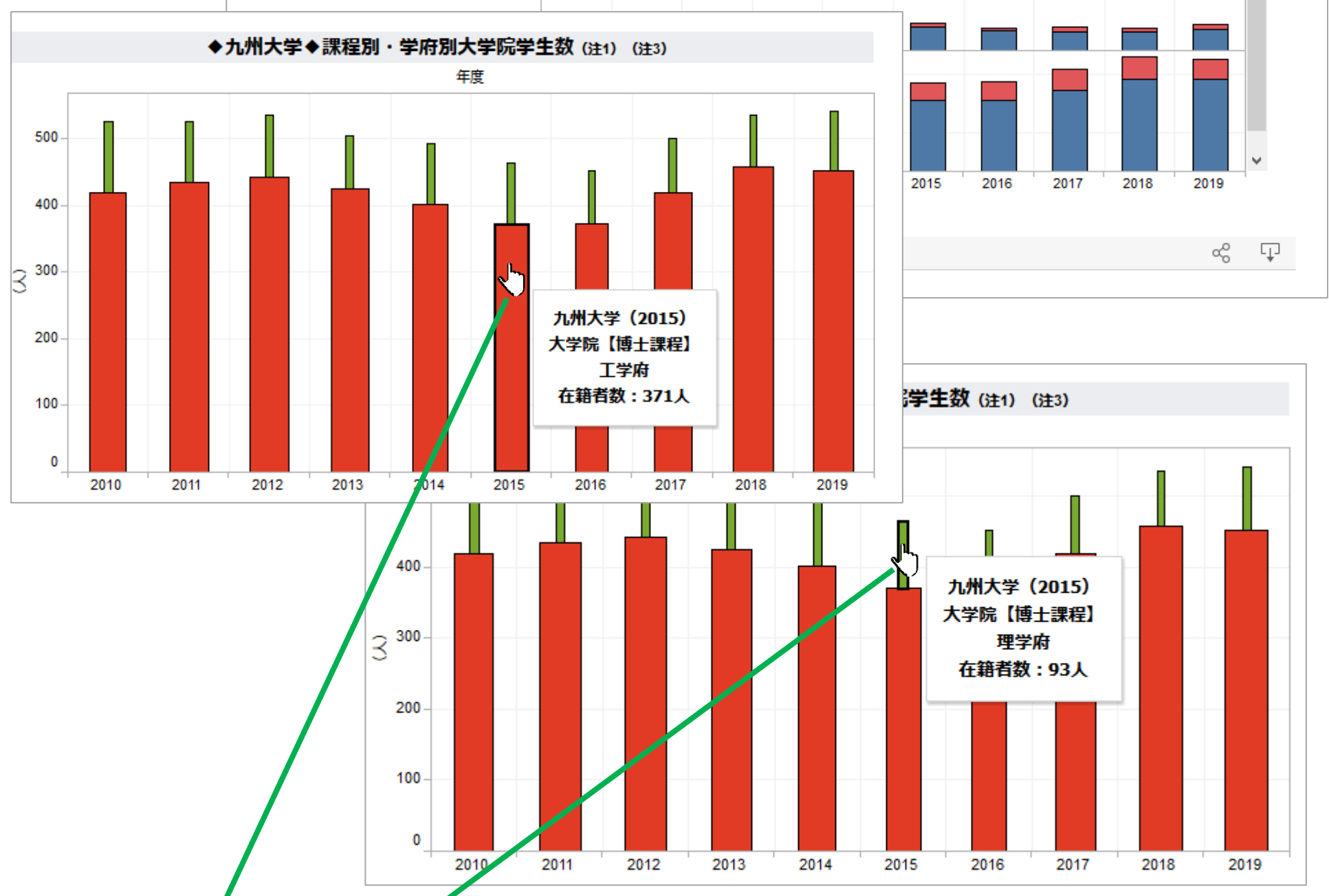
- (すべて)
- 人文科学府
- 比較社会文化学府
- 地球社会統合科学府
- 人間環境学府
- 法学府
- 経済学府
- 理学府
- 数理学府
- システム生命科学府
- 医学系学府
- 歯学府
- 薬学府
- 工学府
- 芸術工学府
- システム情報科学府
- 総合理工学府
- 生物資源環境科学府
- 統合新領域学府

④ 「学府選択」 フィルターの「理学府」と「工学府」を選択する

フィルター機能を使用することで、グラフは「理学府」と「工学府」に限られた表示となる



それぞれの学府の学生数はグラフの面積で表現される→理学府 (緑) に比べ、工学府 (赤) の博士課程学生数が多いことが一見して分かる



グラフにマウスオーバーをすることによって、それぞれの学府の詳細情報が文字情報として表示される

比較してみる：

【ブック版 (pdf) 使用の場合】

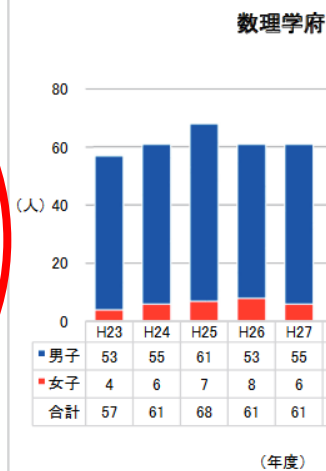
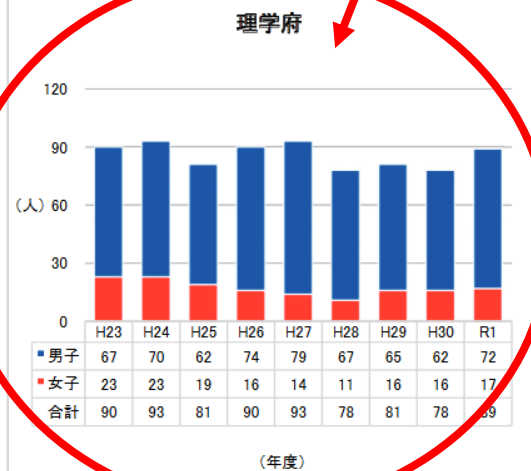


4

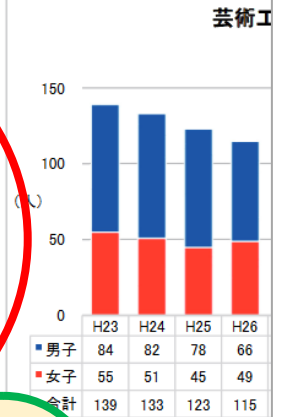
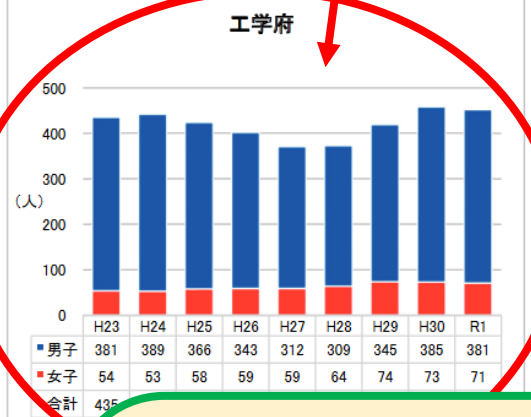
※出典：九州大学概要（各年度5月1日現在）

※出典：九州大学概要（各年度5月1日現在）

3-4-2. 博士後期課程(学府別・在籍学生数)(つづき)



3-4-2. 博士後期課程(学府別・在籍学生数)(つづき)



たくさんあるグラフの中から理学府と工学府を探さないといけない (探すのが大変! 文字が小さい!).

理学府のグラフは76ページ、工学府は77ページにあり、両グラフの軸も異なるため、同じような棒グラフに見えても、実際の数字には大差がある (数字だけを見てもピンと来ない).

Interactive版のフィルター機能を使えば、知りたい情報が簡単に見つかる! 必要に応じてグラフを変化させることができるので、比較しやすい!



事例 2

10年前に比べ、大学全体の収入にどういった変化が起きたかを知りたい

例) 具体的にどの項目が変わったかを調べたい場合：

9. 研究

- [I. ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向 \(Pdf\) !\[\]\(8c4dca64662d21542001ca0ed7eeb688_img.jpg\)](#)
- [II. 論文の量と質](#)
- [III. 国際共著論文](#)
- [IV. 世界各国との国際共著状況 \(別ページ\)](#)

10. 国際

- [I. 海外大学との交流状況](#)
- [II. 学生の海外留学状況](#)
- [III. 外国人留学生の受入状況](#)

11. 産学官連携

- [I. 共同研究・受託研究](#)
- [II. 知的財産関連・共著関係から見る産学官連携](#)

12. 附属病院

13. 収入・支出

- I. 収入・支出予算**
- [II. 科学研究費助成事業・寄附金・産学官連携等](#)

14. 研究プログラム及び教育プログラム

①目次から「13. 収入・支出→I. 収入・支出予算」を選択する

13. 収入・支出—I. 収入・支出予算

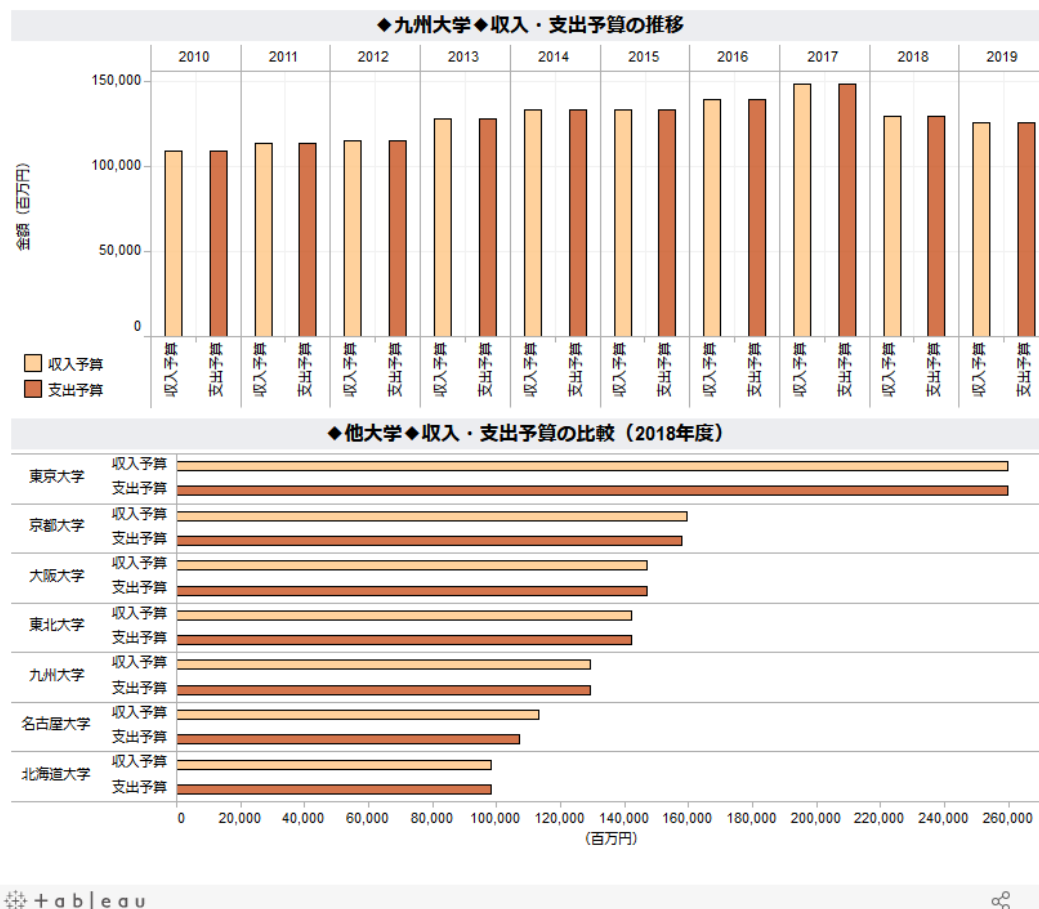
[前へ \(「12. 附属病院」\)](#)
[目次に戻る](#)

[次へ \(「13. 収入・支出-II. 科学研究費助成事業・寄附金・産学官連携等研究収入」\)](#)

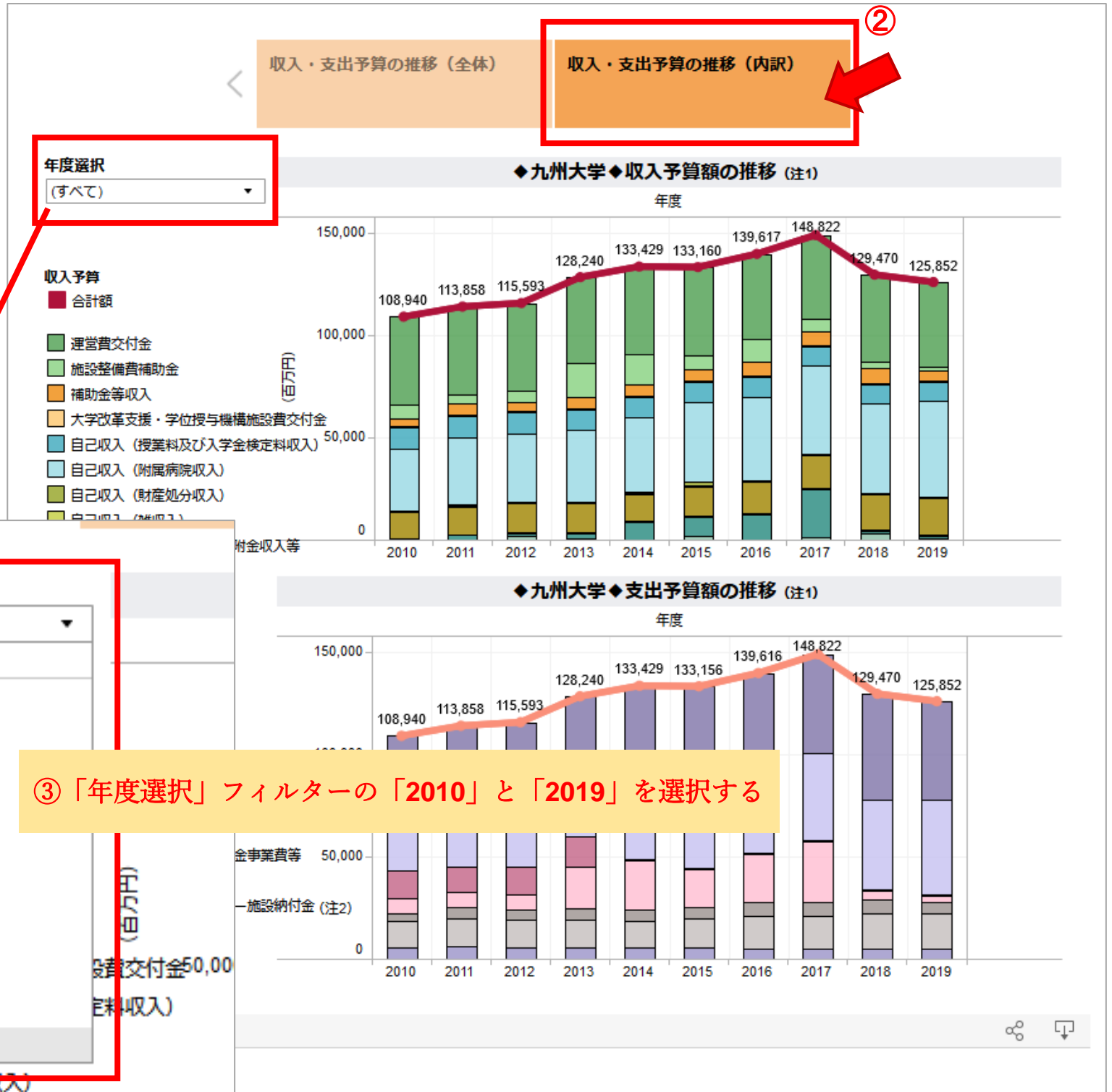
【ご注意】

モニターのサイズによって数字が一部表示されない場合があります。
表示されない場合は、マウスをかざすことによって詳細情報が見られます。
※ブラウザやOSのバージョン等により正しく表示されない場合がありますので、最新のバージョンでお試ください。

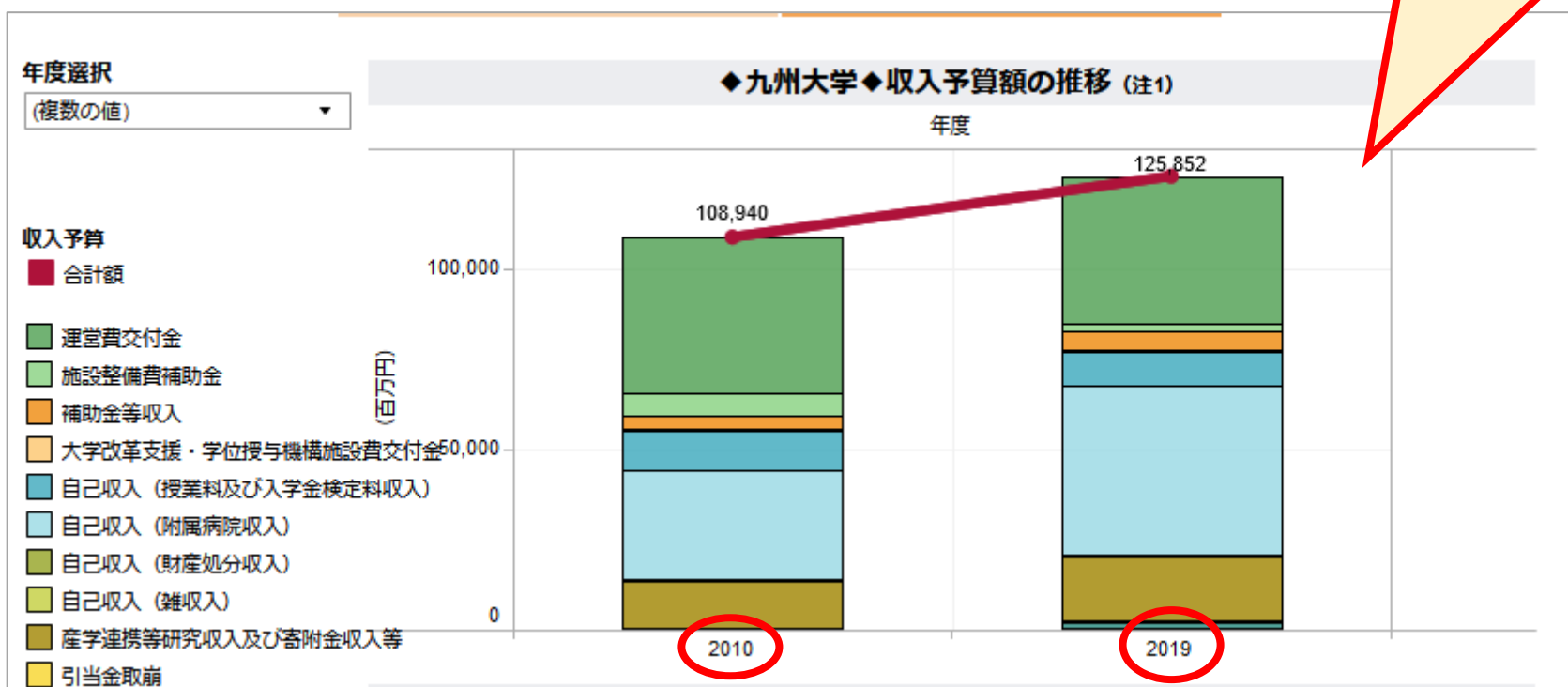
< 収入・支出予算の推移 (全体) 収入・支出予算の推移 (内訳) >



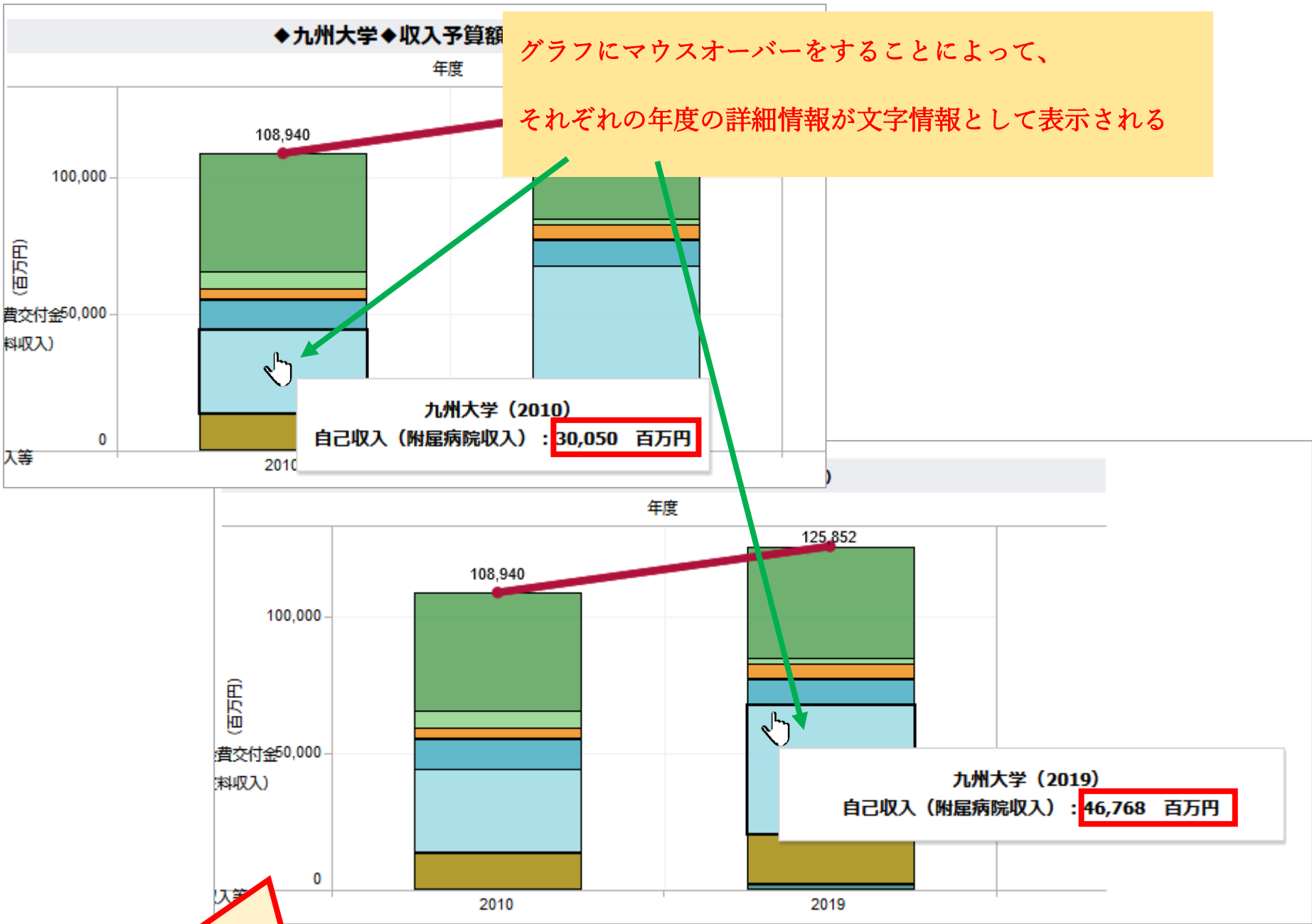
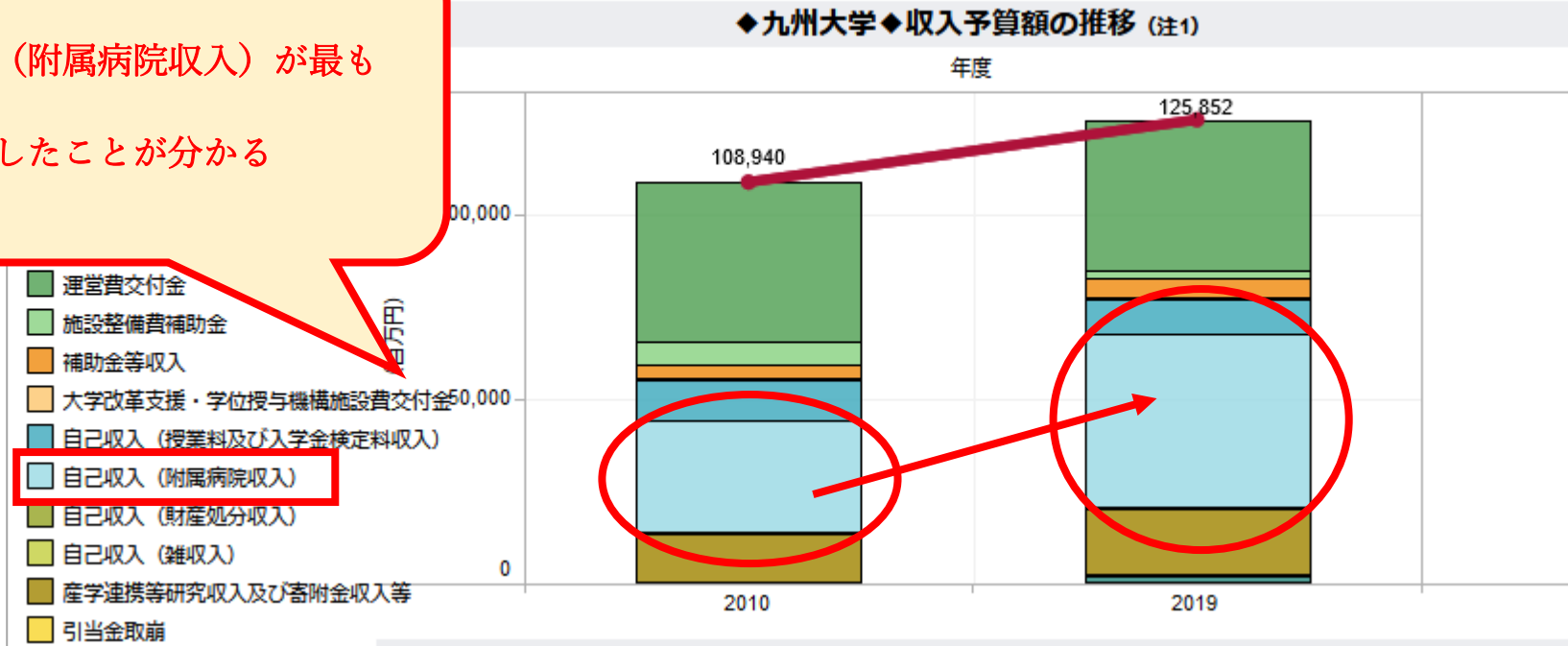
②開いたページのタグ「収入・支出予算の推移（内訳）」を選択する



2010年と2019年の2年分の情報
だけが表示されるようになる



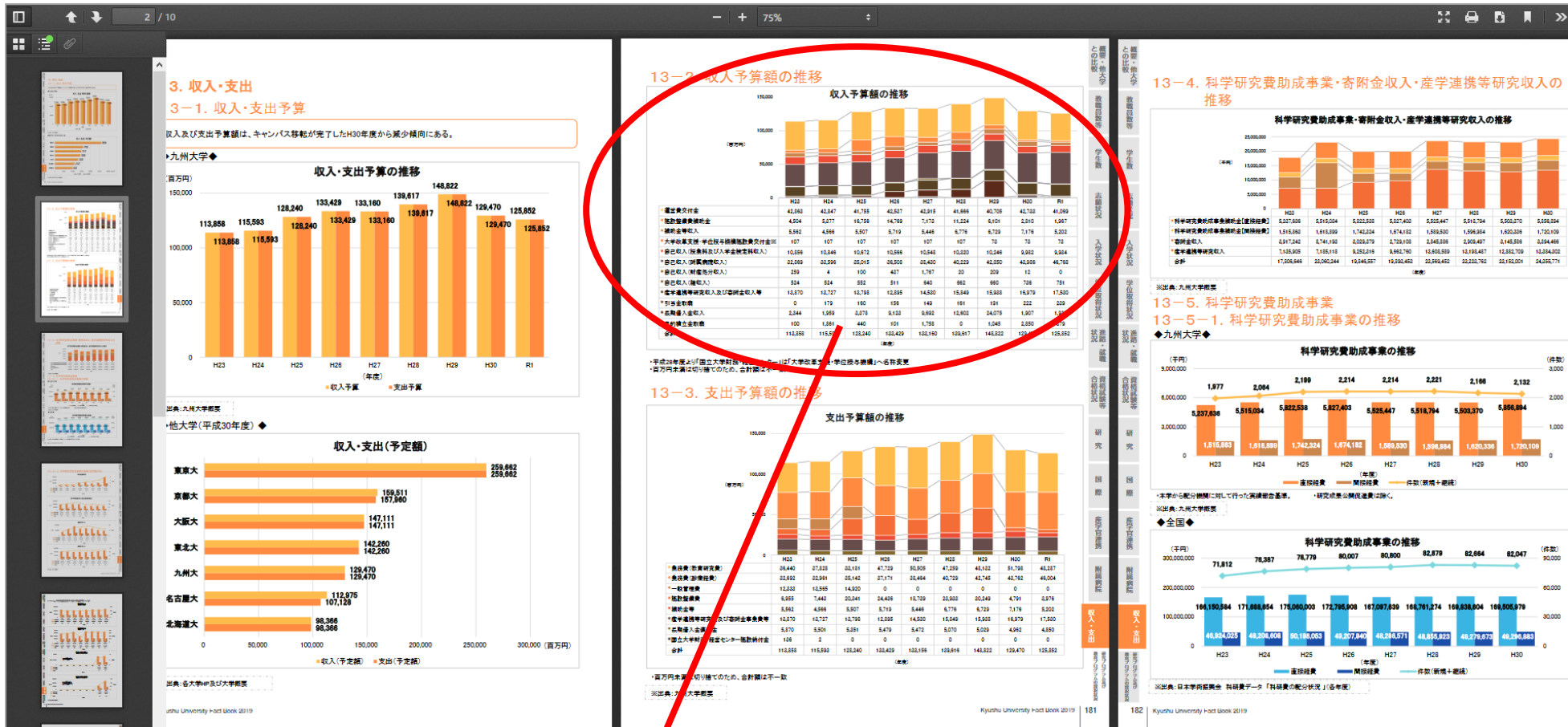
水色の部分（附属病院収入）が最も大きく増加したことが分かる



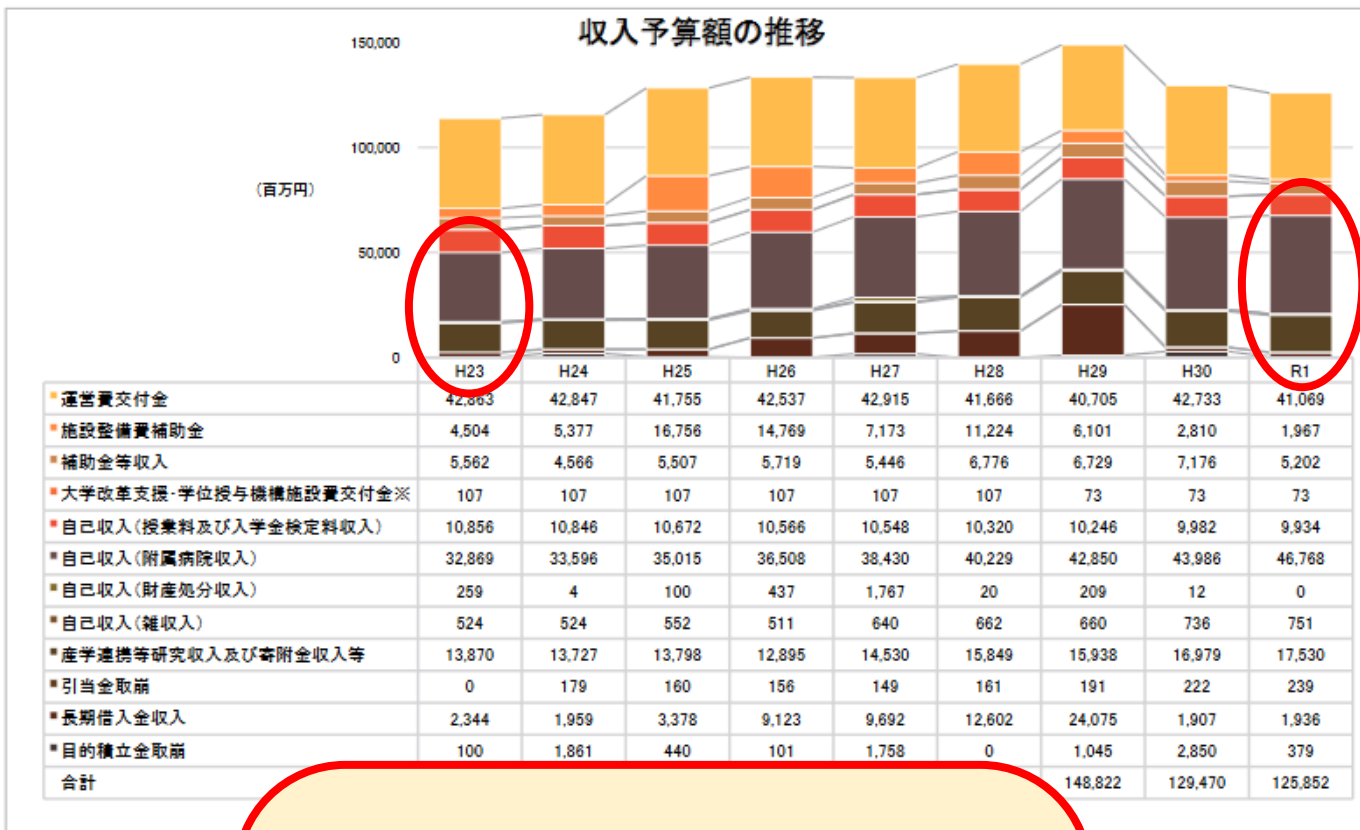
附属病院収入は2010年の30,050百万円から2019年の46,768百万円に増加し、増加率は約1.5倍以上に達したことが分かる

比較してみる：

【ブック版 (pdf) 使用の場合】



13-2. 収入予算額の推移



2010年(H23)と2019年(R1)を比較したが、グラフの両端に位置しているために見づらい。ブラウン系の部分が増加したと分かるが、その中のどの項目が増えているのか分かりにくい。下に数字がたくさんあって、見間違いやすい。

Interactive版を使えば、比較したい情報を隣に並べることができる。マウスオーバーして詳細情報が表示されるので、見間違いもない。



事例 3

本学の寄付金収入は多いか少ないか知りたい、

例) 国立7大学において本学の寄付金収入はどのレベルにあるかを調べたい場合：

9. 研究

- [I. ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向 \(Pdf\) ㊦](#)
- [II. 論文の量と質](#)
- [III. 国際共著論文](#)
- [IV. 世界各国との国際共著状況 \(別ページ\)](#)

10. 国際

- [I. 海外大学との交流状況](#)
- [II. 学生の海外留学状況](#)

①目次から「13. 収入・支出→II. 科学研究費助成事業・寄付金・産学連携等研究収入」を選択する

11. 共同研究・受託研究

- [II. 知的財産関連・共著関係から見る産学官連携状況等](#)

12. 附属病院

13. 収入・支出

- [I. 収入・支出予算](#)
- II. 科学研究費助成事業・寄付金・産学連携等研究収入**

14. 研究プログラム及び教育プログラムの採択状況

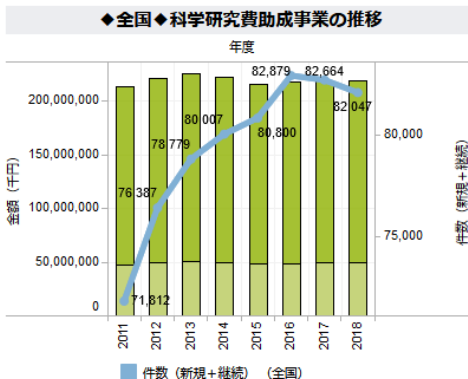
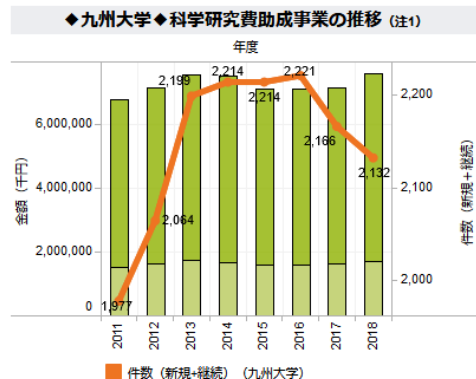
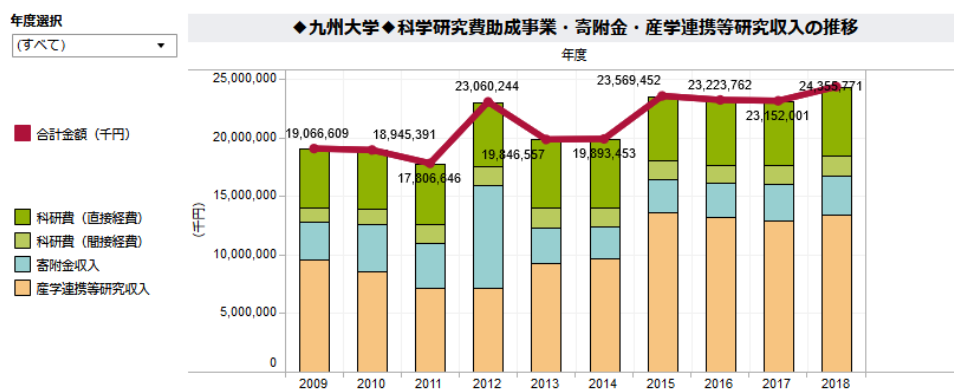
13. 収入・支出－II. 科学研究費助成事業・寄付金・産学連携等研究収入

[←前へ\(「13. 収入・支出－I. 収入・支出予算」\)](#) [次へ\(「14. 研究プログラム及び教育プログラムの採択状況」\)](#)
[目次に戻る](#) [\(Pdf\) ↓](#)

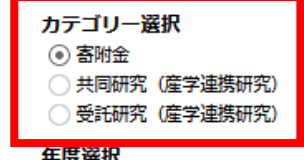
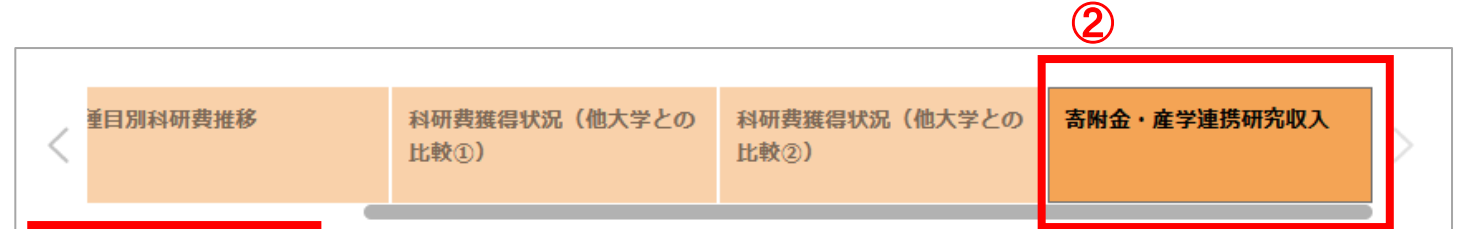
【ご注意】

モニターのサイズによって数字が一部表示されない場合があります。
 表示されない場合は、マウスをかざすことによって詳細情報が見られます。
 ※ブラウザやOSのバージョン等により正しく表示されない場合がありますので、最新のバージョンでお試してください。

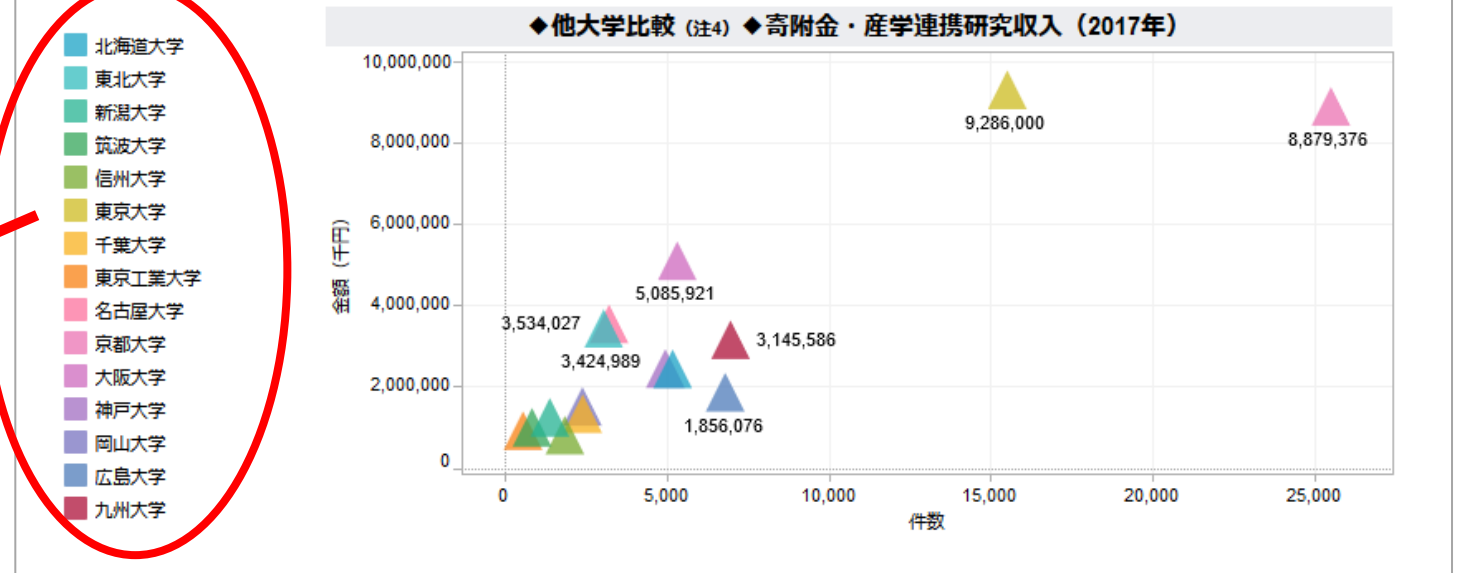
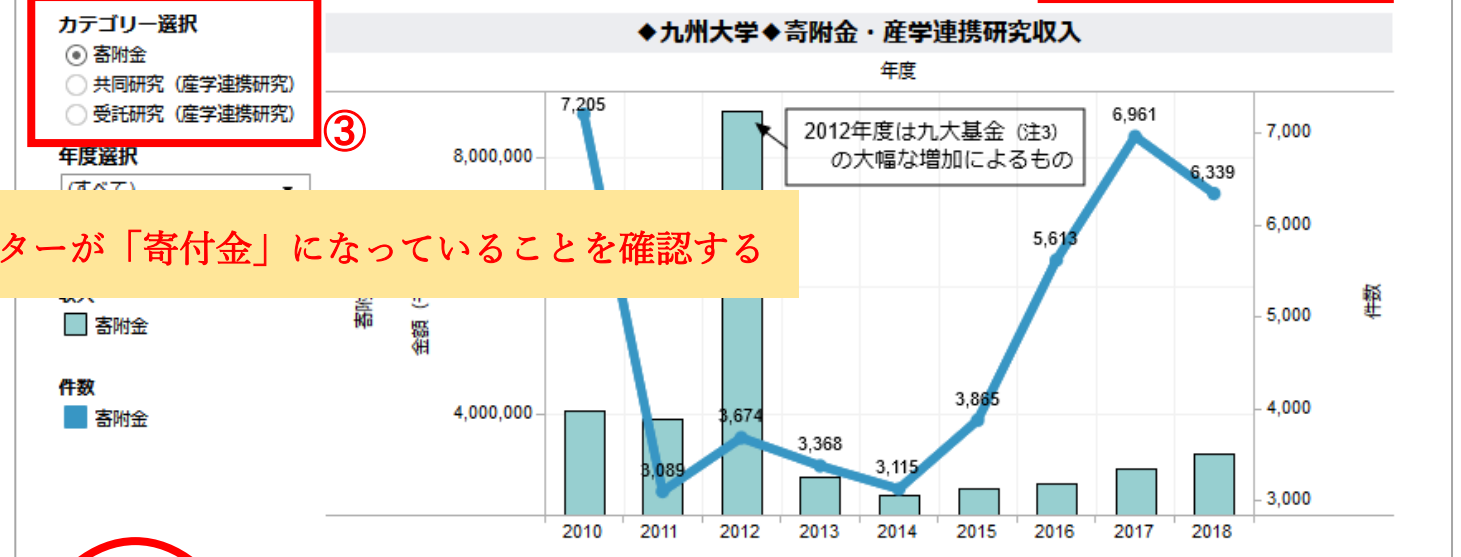
◀ **科学研究費・寄付金・産学連携等研究収入推移** 種目別科研費推移 科研費獲得状況(他大学との比較①) 科研費獲得状況(他大学との比較②) ▶



②右にスクロールして、タグ「寄付金・産学連携研究収入」を選択する



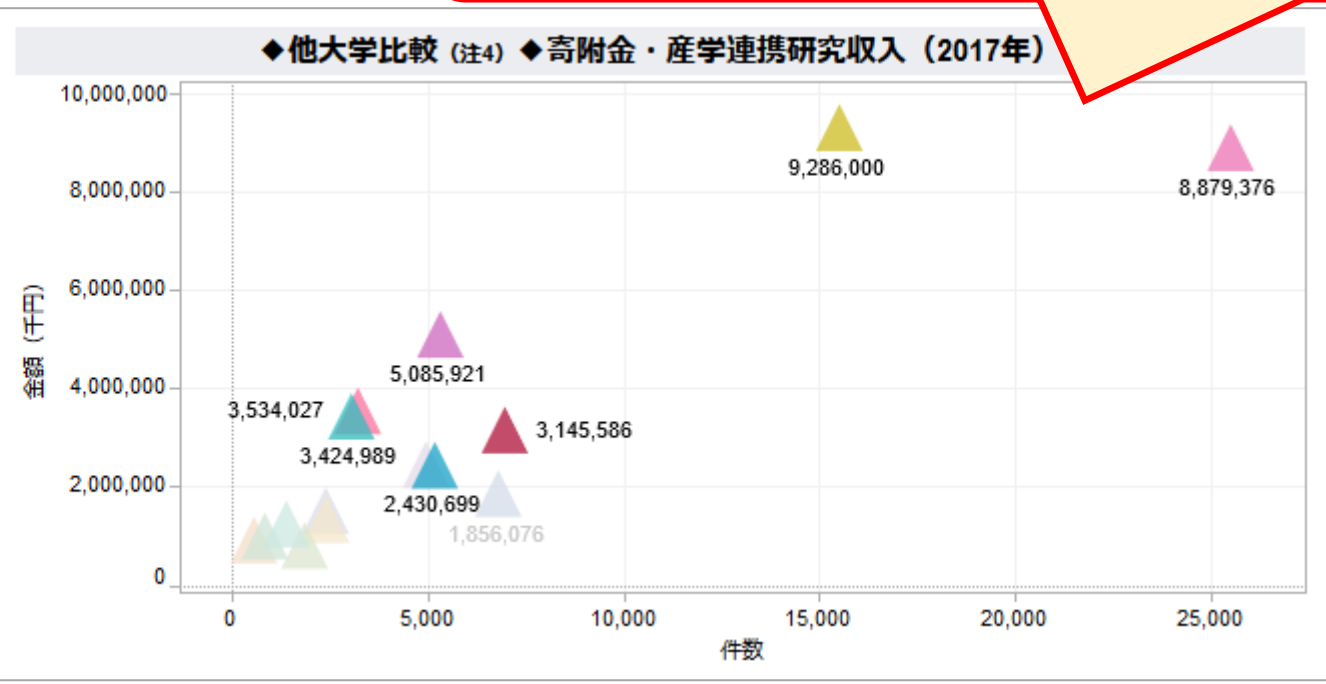
③「カテゴリー選択」フィルターが「寄付金」になっていることを確認する



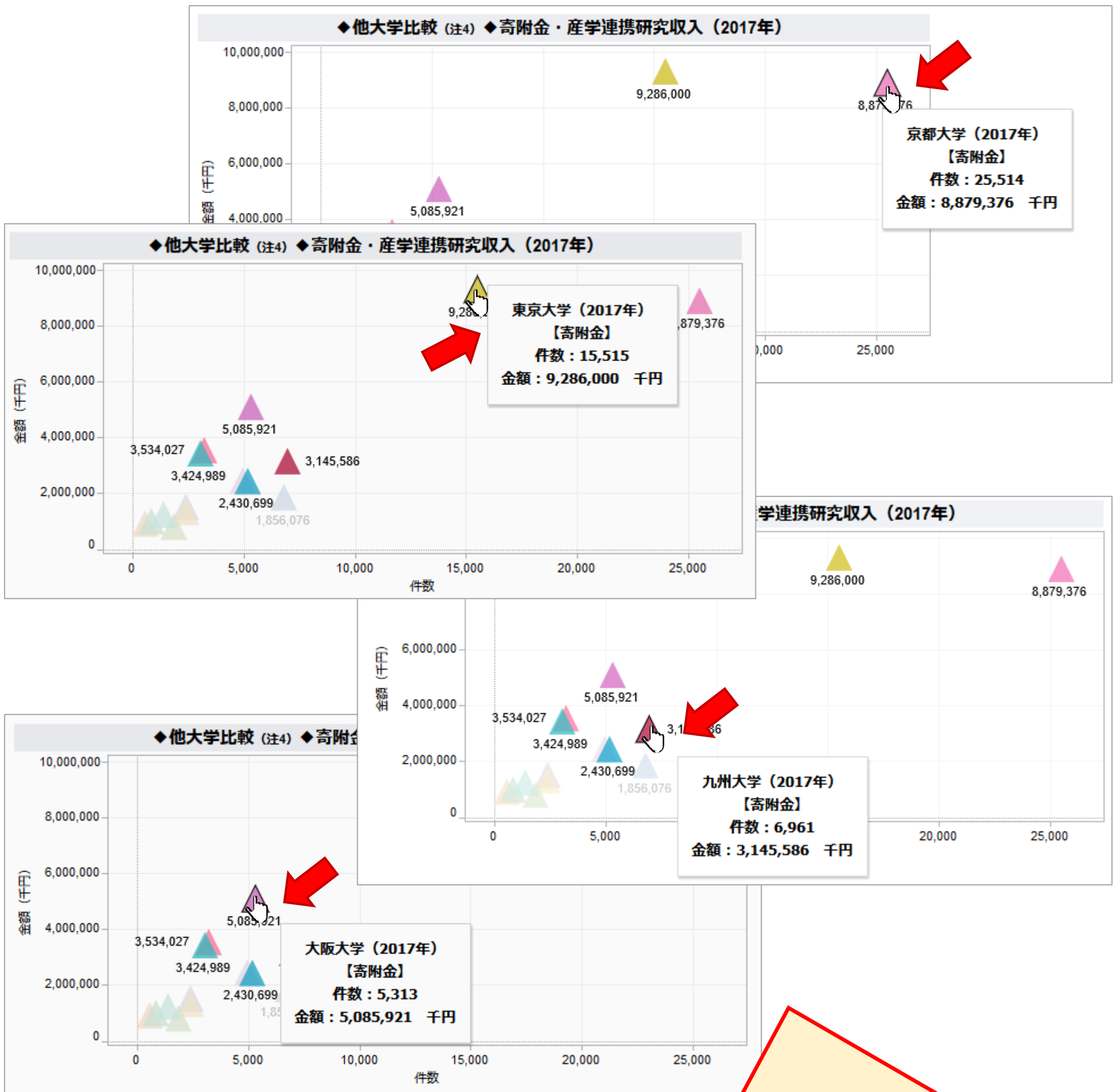
- 北海道大学
- 東北大学
- 新潟大学
- 筑波大学
- 信州大学
- 東京大学
- 千葉大学
- 東京工業大学
- 名古屋大学
- 京都大学
- 大阪大学
- 神戸大学
- 岡山大学
- 広島大学
- 九州大学

④「Ctrl+大学名」で国立7大学を複数選択する

選択された大学のみハイライトされる
国立7大学における本学の位置付けが見えるようになる



△にマウスオーバーすることによって、各大学の詳細情報が文字情報として表示されます

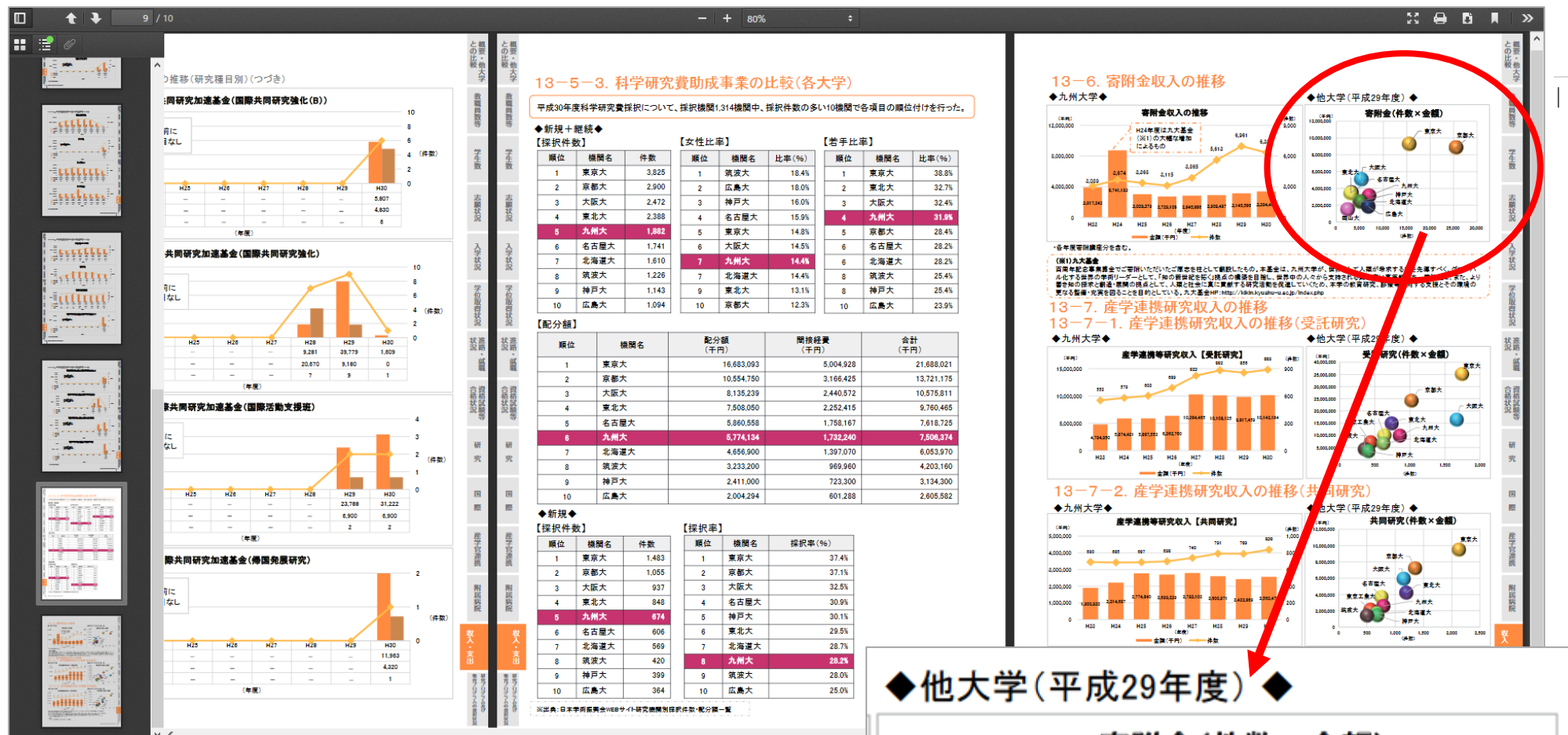


国立7大学のうち、京都大学と東京大学は寄付金の「件数」も「金額」も断然他の5大学より多いことが分かる。

京都大学と東京大学以外の5大学の中、本学の寄付金の「件数」は最も多い。一方で、「金額」は比較的少ない水準にあることが分かる。

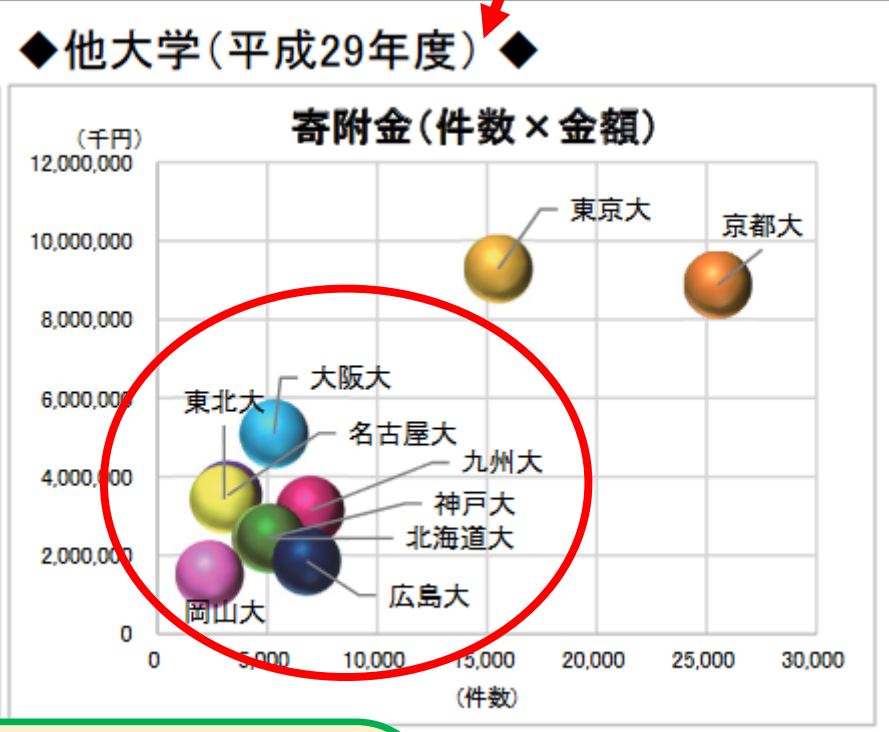
比較してみる：

【ブック版 (pdf) 使用の場合】

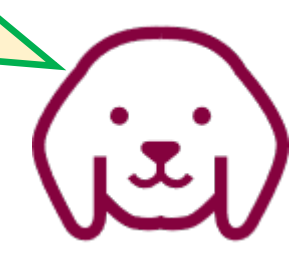


12

各大学を表す円形的位置は分かるが、具体的な「件数」と「金額」は分からない。
左下のコーナーにたくさんの大学が集中して見えにくい。



Interactive 版はより多くの情報を一枚のシートにまとめることができる。
さらにデザイン性もあって、ユーザーが見やすいことが特徴の一つ。



ご意見やご質問は下記メールアドレスまでお願いします。
九州大学 IR 室：kikir@jimu.kyushu-u.ac.jp